

技術評価認定書

評価認定対象技術： エコマックス工法

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（1996年6月1日施行）に基づき審査した結果、上記技術を総合治水対策及び水循環再生等に寄与する技術と認め、下記のとおり評価認定する。

2021年 8月 31日

公益社団法人雨水貯留浸透技術協会

会 長

佐藤直良

記

1. 評価認定結果

- (1) 雨水を改良土内（表層・下層）に速やかに浸透させ、貯留させる機能を有していると認められる。
- (2) 浸透保水層・貯留層の構造が、十分な強度と耐久性および安全性を有していると認められる。
- (3) 主原料（表層土、下層土、改良材）を可能な限り再利用していると認められる。施設の維持管理が確実にできると認められる。
- (4) 施工が容易であると認められる。
- (5) 維持管理が容易であると認められる。

2. 評価認定の前提

- (1) 提出された資料には事実に反した記載がないものとする。
- (2) 本認定に使用する材料等は、適正な品質管理のもとで製造されたものとする。
- (3) 本認定の施工は、標準施工要領等に従い適正な施工管理のもとに行われるものである。

3. 評価認定有効期間

自 2021年 8月 31日 至 2026年 8月 30日

4. 申請者

株式会社エコマック

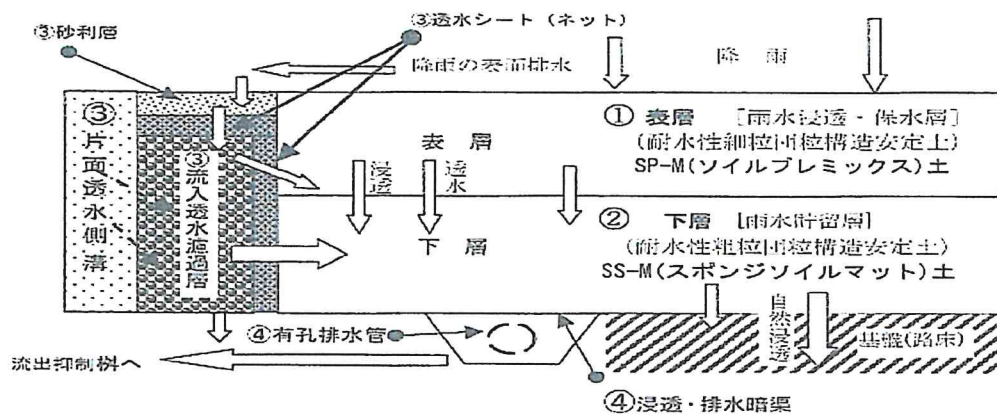
京都府城陽市観音堂甲畑2番地の6

1. 評価認定の対象技術

評価申請者 株式会社 エコマック

対象技術 エコマックス工法

技術の概要 エコマックス工法は、発生土を現地でポーラスな構造（耐水性団粒構造）に改良し、雨水の地中浸透や貯留を促進させ、屋外運動施設等（校庭、公園、各種競技場、遊歩道）の排水改善並びに雨水の流出抑制を図る技術である。



2. 評価の経緯

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（平成8年6月6日施行）に基づき、株式会社エコマックが開発した技術について評価を行うものである。

3. 評価の範囲

評価の範囲は、発生土を篩い選別した細粒分に、浄水スラッジを原料として精製された改良（SP-M 素地）を添加混練して製造された表層土（SP-M 土）と同じく粗粒分に改良材（SS-M 土）を添加混練して製造された表層土（SS-M 土）からそれぞれ構成される浸透保水層、貯留層および流入・流出施設を対象とする。

4. 評価内容

評価にあたり、具体的な内容を以下に示す。

① 機能性

表層土 (SP-M 土) は、雨水を速やかに浸透させるのに十分な透水性を有し、下層土 (SS-M 土) は、雨水を貯留するために実用上十分な有効空隙率を有している。また、流入施設の各部位には、十分な透水性を有している材料が用いられている。よって、雨水流出抑制施設としての機能を十分に確保できるものである。

② 強度および安全性

改良土は、浸透保水層・貯留層の構造として、実用上十分な強度を有し、経年変化による表層土の細粒化の度合いが小さいため、実用上長期の使用に耐え得るものである。

③ 環境保全性 (安全性)

各地域の浄水スラッジを改良材 (耐水性団粒構造安定化材) としており、また表層土および下層土には発生土を現場で再利用できる。なお、改良材は有害物質の含有量が基準値以下である。

④ 経済性

特殊な機械を用いることなく、従来工法に準じて施工できるため、施工は容易である。

5. 留意事項および付言

エコマックス工法において、改良の対象とする土壌は、真砂土等の砂質および関東ローム等の火山灰質土である。また、水文設計において下層以深の基盤 (路床) への浸透量は、原則として対策量に考慮しない。